日刊 水産経済新聞　平成21年6月5日

汚れたポリ袋、有価物に

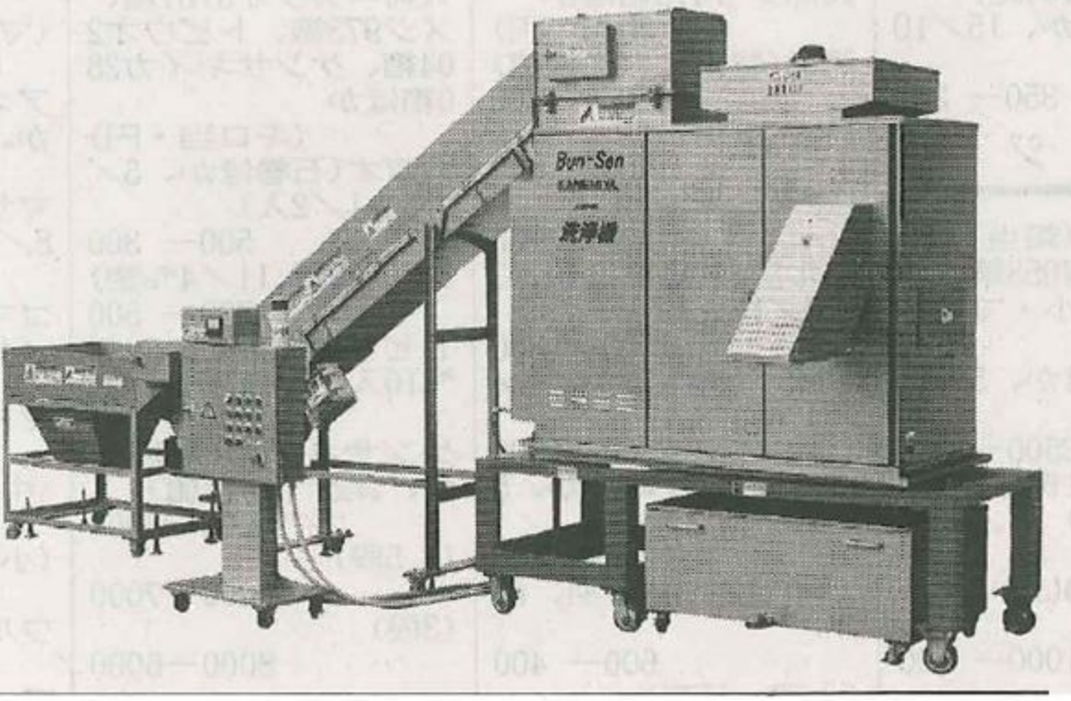
「Bun-Sen」一台で分別・洗浄・脱水

カネミヤ

使用済みのポリ袋やビニールフィルムは、洗浄に手間がかかる。再利用は難しく、現状は産業廃棄物として処理費を支払っている。しかし、㈱カネミヤの「Bun-Sen」(写真)は、1枚2秒のスピードで、これらを分別・洗浄・脱水し、リサイクル可能な有価物に自動で仕上げる。

このポリ袋自動分別洗浄処理機「Bun-Sen」の特徴は、独自に開発した高回転の遠心分離と摩擦の利用にある。1時間連続で処理し続けても、使用する水は20㍑だけ。60㍑袋ならば、1枚わずか2秒で仕上げてしまう。洗浄水の少量化と、短時間の洗浄・脱水を実現化した。対象物も90㍑の大型袋から、弁当の醤油袋など小さなものまで幅広い。冷凍魚のフィルムや、漬魚の包装袋など、においや汚れが目立ち、リサイクルが特に不向きとあきらめていたものまで対応できる。

洗浄されたポリ袋は、リサイクルが可能なプラスチック原料として生まれ変わる。これまで専門業者に処分費を支払ってきたものが、逆に有価物として収入源になる。この取り組みは、CO2削減やリサイクル率の向上にもつながる。具体的な数値を表せるため、科学的データとして、企業の取り組みを消費者にアピールすることもできる。

小スペースでも設置ができる小型版の「Bun-Sen-mini」もある。ほかに大型のポリ袋やシート材を小さく裁断するもの、ペットボトルや牛乳パックの処理に対応する機械もある。

▽問い合わせ先・㈱カネミヤ＝〒475-0807、愛知県半田市八軒町128、☎0569-23-2871